

学校統合計画の見直しについて（素案）

見直しの方向性

統合は現計画のとおり、小学校は1学年1学級以上の普通学級6学級以上（複式学級の解消）、中学校は1学年2学級以上の普通学級6学級以上を基本とし統合を進めていく。ただし、統合計画期間については特に期限を定めることなく、複式学級の発生状況及び児童生徒数の推移と学校施設(教室数)の現状を踏まえ、それぞれの組合せに応じた統合時期決定する。

統合の決定に当たっては、従前どおり保護者及び地域の合意を得ることとする。

なお、合意が得られない場合においても、その後、児童生徒数が大きく減少していく状況となれば、統合を進めていく。

統合を進めるに当たっての検討事項

学校統合は児童・生徒、保護者にとって教育環境が大きく変化することとなるので、小学校統合を経験した児童については、中学校統合を経験させない配慮が必要。

深浦小は平成23年4月に小木小へ統合

小木中と羽茂中は平成26年度に南佐渡中として統合

平成25年4月（金井小・金井吉井小が統合）（畑野小・後山小・小倉小が統合）

平成25年4月当時、小学2生の児童が中学を卒業する年度は32年度である。

なお、今後予定の新穂地区小学校統合についても同様な背景がある。

3校を1校とする統合について、仮に1校が統合しない場合において、当該学校が将来的に統合する時期については検討が必要。学校にとって統合協議やその事務調整には膨大な労力を要することから、一定の期間、統合しない配慮が必要。

学校統合に関する実態調査（平成28年4月調査）

調査対象校 加茂小・金井小・畑野小・真野小・小木小・羽茂小・両津中・南佐渡中

(1) 学校統合が決定してから統合するまでの間、どの点について課題が発生したか

（複数回答可）

統合後の教育目標、教育課程の調整	2校
地域住民・保護者や児童・生徒からの理解（反対意見への対応等）	3校
検討委員会、準備委員会等の設置・運営等	
通学手段・安全確保の問題	5校
統合予定校同士の教育活動における交流	2校
教育財政面の問題	
学校にある教材教具や備品等の取り扱い	4校
統合前の学校の良い点（校風等）の残し方	1校
児童・生徒の個人情報等の整理	
施設整備	

(2) 学校統合後において、どの点について課題が発生したか（複数回答可）

教育活動（学校行事、部活動等）	1校
学習指導	2校
学校統合に伴う児童・生徒間の関係	5校
児童・生徒の通学（スクールバス等の通学支援等）	4校
校舎（施設）の利用方法	3校
職員等の配置	
P T A活動	6校
地域住民の学校への関わり	
校区の広範囲化（家庭訪問や生徒指導への影響） 以外	3校

(3) 閉校した学校の取組を統合後の学校運営に反映または、配慮した事項は

（複数回答可）

教育目標	
学校行事（修学旅行、体育祭、文化祭など）	3校
地域活動	3校
部活動	
P T A活動	3校
学校指定用品（制服、体操着、上履き、その他用品等）	1校